

伊丹福音ルーテル教会 聖霊降臨後第七主日礼拝のしおり

2022年7月24日

前奏

招きのことば：詩編 138 編 1-3, 7-8 節

【ダビデの詩】わたしは心を尽くして感謝し 神の御前でほめ歌をうたいます。
聖なる神殿に向かってひれ伏し あなたの慈しみとまことのゆえに 御名に感謝をささげます。
その御名のすべてにまさって あなたは仰せを大いなるものとされました。
呼び求めるわたしに答え あなたは魂に力を与え 解き放ってくださいました。|
わたしが苦難の中を歩いているときにも 敵の怒りに遭っているときにも
わたしに命を得させてください。御手を遣わし、右の御手でお救いください。
主はわたしのために すべてを成し遂げてくださいます。
主よ、あなたの慈しみが とこしえにありますように。御手の業をどうか放さないでください。

罪の悔い改めと赦しのことば

会衆： 私たちは生まれつき、自分中心、わがままで、心の中に本当の愛のかけらもありません。思いとことばと行いで、まことの神を軽んじて、となりびとにも愛のない、神の御前に罪人です。神様、ほんとうにごめんなさい。
私たちは祈ります。私たちを救うため あなたがお与えくださった イエス・キリストによって、どうかあわれんでください。アーメン。（短い黙祷を持ちましょう）

牧師： 何でもおできになる神様は、あなたのすべての罪を赦すために、そのひとり子、イエス・キリストを十字架の上で死に渡してくださいました。ですから神様の御言葉をとりつぐ務めに任じられた牧師として、今、あなたがたに宣言します。父と、御子と、聖霊のお名前によって、あなたの罪は赦されました。安心して行きなさい。**アーメン。**

使徒信条

われは、天地のつくり主、父なる全能の神を信ず。

われは、そのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。

主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死して葬られ、
陰府(よみ)にくだり、三日目によみがえり、天にのぼり、父なる全能の神の右に座したまえり。
生ける人と死にたる人とを審かんがため、かしこより再びきたりたまわん。

我は聖霊を信ず、また、聖なるキリスト教会、すなわち聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、限りなきいのちを信ず。 アーメン。

祈り

愛とあわれみに満ちておられる 私たちの父なる神様、心から感謝をいたします。今朝も共に礼拝にあずかり、罪の赦しをいただき、新しいいのちをいただいて 一週間を始めます。

私たちは、神様に祈り求めることを忘れます。イエス様によってすべての罪赦されて、新しいいのちをいただき、神の子とされているのに、問題が起こると反射的に自分の力や知恵で解決しようとか心が動きます。イエス様に心に向けさせてください。イエス様からの恵みに目をとめさせてください。妥協や諦めではなく、疲れや無力感ではなく、神様の新しい知恵と力を与えてください。私たちの信仰を強めて、私たちの口から仕方がない、とか、どうしようもない、という言葉が消えて、むしろ愛をもって真理を語るように、私たちの思いが正しい順番でものごとを考えるように、私たちの行動が物事をわきまえて人を生かすために身を処するように、主よ、どうぞあらゆるときに、あなたに正しく求めるように導いてください。

新型コロナ・ウィルスの感染拡大を防ぐため、緊張感を保たなければなりません。その中でも全て御手にゆだね安心して、あなたの子どもとして 生き生きと生きる日々をお与えください。この祈りを、私たちの救い主であり 主である イエス・キリストのお名前によってお祈りいたします。 **アーメン**

使徒書朗読：コロサイの信徒への手紙 2章 6-15節

あなたがたは、主キリスト・イエスを受け入れたのですから、キリストに結ばれて歩みなさい。キリストに根を下ろして造り上げられ、教えられたとおりの信仰をしっかりと守って、あふれるばかりに感謝しなさい。人間の言い伝えにすぎない哲学、つまり、むなしいだまし事によって人のとりこにされないように気をつけなさい。それは、世を支配する霊に従っており、キリストに従うものではありません。キリストの内には、満ちあふれる神性が、余すところなく、見える形をとって宿っており、あなたがたは、キリストにおいて満たされているのです。キリストはすべての支配や権威の頭です。あなたがたはキリストにおいて、手によらない割礼、つまり肉の体を脱ぎ捨てるキリストの割礼を受け、洗礼によって、キリストと共に葬られ、また、キリストを死者の中から復活させた神の力を信じて、キリストと共に復活させられたのです。肉に割礼を受けず、罪の中にいて死んでいたあなたがたを、神はキリストと共に生かしてくださいました。神は、わたしたちの一切の罪を赦し、規則によってわたしたちを訴えて不利に陥っていた証書を破棄し、これを十字架に釘付けにして取り除いてくださいました。そして、もろもろの支配と権威の武装を解除し、キリストの勝利の列に従えて、公然とさらしものになさいました。

福音書朗読：ルカによる福音書 11章 1-13節

イエスはある所で祈っておられた。祈りが終わると、弟子の一人がイエスに、「主よ、ヨハネが弟子たちに教えたように、わたしたちにも祈りを教えてください」と言った。そこで、イエスは言われた。「祈るときには、こう言いなさい。『父よ、御名が崇められますように。御国が来

ますように。わたしたちに必要な糧を毎日与えてください。わたしたちの罪を赦してください、わたしたちも自分に負い目のある人を皆赦しますから。わたしたちを誘惑に遭わせないでください。』

また、弟子たちに言われた。「あなたがたのうちのだれかに友達がいて、真夜中にその人のところに行き、次のように言ったとしよう。『友よ、パンを三つ貸してください。旅行中の友達がわたしのところに立ち寄ったが、何も出すものがないのです。』すると、その人は家の中から答えるにちがいない。『面倒をかけないでください。もう戸は閉めたし、子供たちはわたしのそばで寝ています。起きてあなたに何かをあげるわけにはいきません。』しかし、言うておく。その人は、友達だからということでは起きて何か与えるようなことはなくても、しつように頼めば、起きて来て必要なものは何でも与えるであろう。

そこで、わたしは言うておく。求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。だれでも、求める者は受け、探す者は見つけ、門をたたく者には開かれる。あなたがたの中に、魚を欲しがる子供に、魚の代わりに蛇を与える父親がいるだろうか。また、卵を欲しがるのに、さそりを与える父親がいるだろうか。このように、あなたがたは悪い者でありながらも、自分の子供には良い物を与えることを知っている。まして天の父は求める者に聖霊を与えてくださる。」

讚美歌 534 番

- 1 ほむべきかな 主のみ恵み 今日まで旅路を 守りたまえり
※よろずの民よ たたえまつれ 「あがないぬしに み栄えあれ」と
- 2 ほむべきかな 御名によりて うくれば物みな よからざるなし ※
- 3 ほむべきかな 主の御名こそ いまわの時にも 慰めとなれ ※ アーメン

説教：「求めなさい、そうすれば、与えられる」

私たちの父なる神様と御子イエス・キリストから、恵みと平安が豊かにありますように祈りつつ、御言葉をとりつぎます。

お祈りについてイエス様が教えておられるところが開かれました。皆さんはよくお祈りしておられますか。イエス様はいつもいつもお祈りしておられました。お弟子たちはイエス様がお祈りされるのを見ていました。お祈りの前とあとではイエス様のご様子が違ったのでしょね。あるときイエス様のお祈りが終わるまで待つて、お弟子のひとりが「私たちにもお祈りを教えてください」と頼みました。

皆さんは祈るとき、誰にお話ししていますか。困ったときについ、神様、助けてください、とすることがありますが、そのとき呼びかけている神様とは誰のことでしょうか。たくさんの方は、神様は誰かわからないし、いるかないかももう一つはつきりわからないと考えているよ

うです。そして、もしも神様がいてくれて、そしてこの祈りを聞いてくれたらどんなにいいかな、とちょっと期待して神様、助けてください、と祈るのです。それでも、自分の都合のよいこんなときだけ、神様、助けてください、とお祈りすることはちょっと虫が良すぎるな、わがままだな、と思ったりもしているのでしょうか。そして、お祈りしたのに神様に助けてもらえなかったように感じると、あんなに真剣に祈ったのに、やっぱり神様なんていないんだな、と思ったりします。あるいは、普段は神様なんて考えないのに、試験の前や、友達関係で困ったときだけ、まじめにお祈りするような自分のお祈りなんてやっぱり聞いてもらえるはずはないな、と考えたりします。

今日の聖書の箇所を見ると、イエス様がお弟子の質問に答えて、神様のことを、父よ、と呼ぶように教えておられます。神様はお父さんだということです。イエス様は神様のことを、お父さん、と呼んでいました。イエス様を信じて神様の子どもにさせていただいた人は、神様を、お父さん、と呼んでお祈りするということです。

あなたは偶然に生れてきたわけではありません。神様があなたをおつくりになりました。神様がお父さん、お母さんを通してあなたをこの世に人として生まれてくるようにしてくださいました。お父さん、お母さんは、あなたがおなかに宿るまであなたの性別さえわかりませんでした。あなたが何を大切にするとどのような子どもなのか、お父さん、お母さんはわかりませんでした。神様があなたをお父さん、お母さんを通してこの世に生まれるようにしてくださいました。ですから神様があなたをおつくりになりました。そして、あなたの幸せのためにお父さんとお母さんの子どもとして生まれることができるようにしてくださいました。

神様はあなたをおつくりになっただけではありません。今もあなたの命を守り、あなたが成長するようにと働いてくださっています。神様はあなたを作り、あなたを喜び、あなたを大切にしてくださいました。あなたが困っているときは喜んで助けてくださいます。あなたがみんなと仲良くして、自分のできることで人々の役に立って、みんなで成長していくことをとても喜んでくださいます。

本来は私たちは、神様が本当はいらっしゃるのか、それとも人間の思い込みなのかと迷ったりしません。なんか世の中にはたくさん神様のことを教える人がいるけど、どれが本当の神様かわからない、と思うこともありません。また、本来私たちは、自分なんて神様にお祈りを聴いてもらえるような立派な人ではないな、と絶望することもありません。イエス様がおっしゃるように、神様のことを、自分を生み出して、大切にしてくださいるお父さん、と呼ぶことができるはずなのです。そして、求めなさい、そうすれば与えられます、探しなさい、そうすれば見つかります、門をたたきなさい、そうすれば開かれます、とイエス様がおっしゃっているように、お父さんである神様にたのめば、必要なものはなんでも与えられます。

イエス様はこんなお話をされました。夜遅く、もう寝ているのに、突然家に来て、お客さんがきたからパンをくれないか、というような願いをする非常識な人がいたとします。でも、皆

さんならきっと、しつこく何回も何回も家の扉をたたいて、遅くに来てごめんなさい、でも困っています、助けてもらえませんか、という友達がいたら、最後には、しょうがない人だな、と言いながら、パンをその人にあげることはないですか。神様はあなたのお父さんです。この人でさえ、夜迷惑を顧みずあなたの家に来て助けてください、というならついに助けてあげるくらいだったら、なおのことお父さんである神様はあなたが「神様、助けてください」という風にお祈りをしたら、すぐに、実際に助けてくれないことはありません。

イエス様はまたこんなお話をされました。どんな心の汚い人でも、自分の子どもが、お父さん、魚をください、と言ったら、一番いい魚をくれるでしょう、そのとき猛毒で危険な蛇を与えるようなことは決してしないでしょ。ましてや、天のお父さんである神様は、あなたのことを全部知っていて、何がほんとうに必要なのかということもよくわかってくださるのですから、あなたによいものを与えてくださらないはずはありません。

皆さんが、神様、助けてください、とお祈りするとき、あなたをつくって、あなたの人生を今まで導いてきてくださった、お父さんである神様は、あなたのことを喜んで助けてくださらないことがあるでしょうか。あなたに必要な能力や知恵を与えてくださらないことがあるでしょうか。親身になってお世話をしてくださるよい先生や、心ゆるせるよい友達との出会いを与えてくださらないことがあるでしょうか。ないはずですね。お父さんなんですから。

ではどうして神様がわからなかったのでしょうか。なぜ心迷うのでしょうか。それは、自分のあてずっぽうで神様のことを推し量っていて、本当の神様のことがわからなかったからです。自分のことなんか神様が聞いてくれるはずがない、と思っているからです。普段から神様のことを考えているわけではないのに、困ったときだけお願いするなんて身勝手すぎるのではないかと後ろめたく思っているからです。つまり、神様の方を向いていない自分には、神様のことがわからなかったのです。神様から心が遠く離れていて、神様のことではなく自分のことばかり考えているから、神様がわからなかったのです。でも、人間はみんなそんなのではないのでしょうか。自分で神様のほうに心に向けることはしないし、できないのではないのでしょうか。そうです。人間はみんな、自分中心でわがままです。自分の幸せを自分でつかもうとします。自分より幸せそうな人を妬みます。自分の利益になりそうにない人を無視します。いじめます。そしてなんでもご存じで、なんでもおできになる神様のほうに心に向けることはしないし、できなくなっています。それで困ってしまいます。困ってもどこに神様がおられるかわからないのでさらにもっと困ってしまいます。

でもイエス様がお祈りしていた神様は、そんな私たちを見捨てません。イエス様は神様から遣わされた方です。そして、神様のことをちっとも考えようとしない自分中心な私たちのために、十字架にかかって死んでくださいました。イエス様は私たちが神様から罰せられないように、代わりに神様の罰をお受けになってくださいました。イエス様は十字架の恐ろしい刑罰を私たちの罪の裁きとして私たちにかわって受けてくださいました。このイエス様の方を向いて、こ

のイエス様を通して神様にお話しするなら、神様は私たちの自分中心な罪をイエス様によって赦して下さって、私たちに新しい心をくださいます。

ですから、神様にお祈りするとき、できるだけ神様に聞いていただけるようにできるだけ熱心に、できるだけ長い時間、できるだけ情熱をもってお祈りしなければならない、とがんばる必要はありません。なぜなら神様が私たちのお祈りを聞いてくださる保証は、私たちの罪のためにご自分のいのちを与えてくださったイエス様だからです。イエス様を通して神様にお祈りしましょう。神様が聞いてくださる確信があります。神様がイエス様を私たちのために遣わしてくださって、私たちの罪を赦して下さって、私たちをそのまま子どもとして受け入れてくださって、私たちの願いを我が子の願いのようにしてなんでも聞いてくださるのです。

イエス様を通して、神様に、なんでもお祈りしましょう。神様のことをいつも感謝して、わがままな私を神様のお考えのようにつくりかえてください、と祈りましょう。なんでも必要なことがあったら、神様にお願いしましょう。自分に悪いことをする人、悪いことをたくらむ人を赦すことができるようにお祈りしましょう。自分の失敗を見て、冷やかしたり、きつい言葉を言う人を恐れなくて、赦すことができるように祈りましょう。なぜなら、私たちもすべての自分中心な心をイエス様によって赦していただいたのですから。私たちが耐えきれないような誘惑や試練に、苦しいことや悲しいこと、我慢できないことや辛すぎることに会わせないでください、と祈りましょう。いつも普段から怠けることなく、よく学び、友達を大切に、人の役に立つ人になれるように、もっと自分を磨いていきましょう。神様が聞いてくださるのですから、求めましょう。探しましょう。門をたたきましょう。

イエス様を通して、私たちは神様の子どもにさせていただきます。洗礼を受けるということは、神様の子どもとして生まれる、ということです。それで私たちはうれしいのです。神様はあなたを作った方、あなたを守ってくださる方です。イエス様はお祈りを教えてくださいました。神様の子どもにさせていただいた人は、イエス様を通して、神様をお父さん、とよんで、何でもお祈りして神様にお話しをします。神様は喜んであなたの祈りを聞いてくださいます。

「このように、あなたがたは悪い者でありながらも、自分の子供には良い物を与えることを知っている。まして天の父は求める者に聖霊を与えてくださる。」ルカによる福音書 11章 13節
人知をはるかに超えた神様の平安が、あなたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってください。アーメン

讚美歌 270番 献金 献金感謝の祈り

- 1 信仰こそ 旅路を導く杖 弱きを強むる かなれや
心勇ましく 旅を続け行かん この世の危うき 恐るべしや
- 2 わが主を頭(かしら)と 仰ぎ見れば 力の泉は 湧きて尽きず

恵み深き主の 御傷(みきず) 見まつれば 僅かに残る火 再び燃ゆ

3 主イエスの御跡(みあと)を 辿り行けば 険しき山路(やまじ)も 安けき道
いかで迷うべき などて疲るべき ますぐに御神へ 近づき行かん

4 **信仰をぞ わが身の 杖と頼まん 鋭き剣も 比ぶべしや**
代々(よよ)の聖徒らを 強く生かしたる 御霊をわれにも 与えたまえ アーメン

主の祈り

天にましますわれらの父よ、願わくはみ名をあがめさせたまえ。みくにを来たらせたまえ。
みこころの天になるごとく地にもなさせたまえ。われらの日用の糧を今日も与えたまえ。
われらに罪をおかす者をわれらが赦すごとく、われらの罪をもゆるしたまえ。
われらを試みにあわせず、悪より救い出したまえ。
国と力と栄えとは、限りなくなんじのものなればなり。アーメン。

頌栄：讚美歌 541 番

父、御子、御霊の おお御神に ときわにたえせず み栄えあれ み栄えあれ **アーメン**

祝福の言葉

仰ぎこいねがわくは、私たちの主、イエス・キリストの恵み、父なる神の愛、聖霊の親しき
お交わりが、御前に集う一同とともに、今日も、この一週間も、いく久しくとこしえまでも、
豊かにありますように。 **アーメン**

後奏